

建筑人

1

2014



建築人（けんちくびと）編集人座談会
大阪ホンマもん
記憶の建築 松隈洋
Gallery 建築作品紹介
クーリア本社ビル
設計 藤木工務店大阪本店
施工 藤木工務店大阪本店
京都市成長産業創造センター
設計 日建設計
施工 錢高組
清風南海学園キヤンバス整備事業
設計 日建設計
施工 清水建設
風の子保育園
設計 井上久実設計室
施工 日本建設
立命館大学京都衣笠体育館
設計 竹中工務店
施工 竹中工務店
ひろば 建築構造案内
樹田洋子
建築の射程 近角真一
NEXT 21 フェーズIV サステナブルデザインの源泉
インフォメーション・事業案内
理事会報告 建築相談 編集後記

建築人

「建築人（けんちくびと）」編集人座談会

大阪ホンマもん

目 次

建築人

1
2014

大阪ホンマもん

年頭所感

(公社)大阪府建築士会会長 岡本森廣



大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

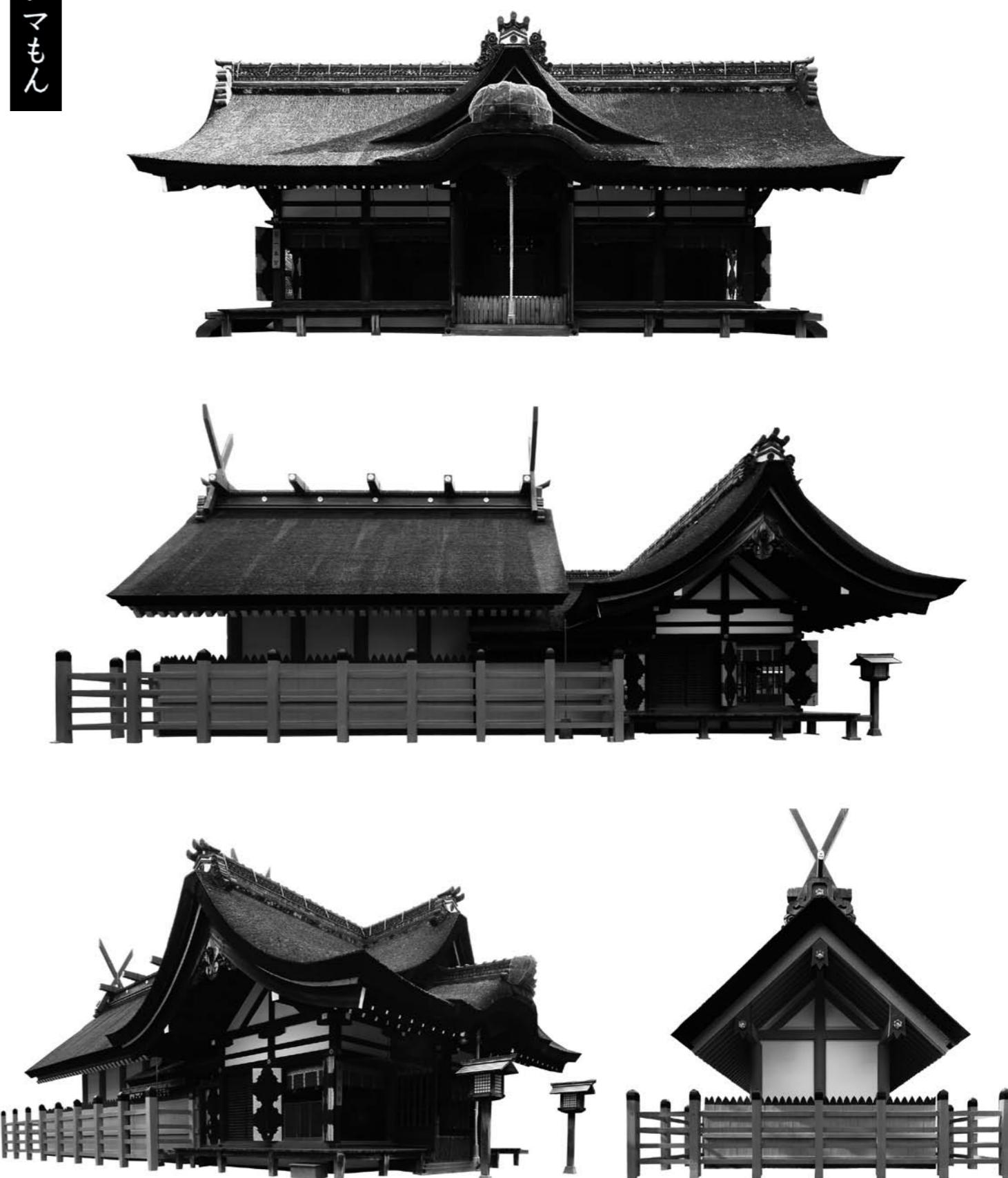
大阪の初詣の代表と言えるのが住吉大社。三が日の参拝者数は三五万人ともいわれ、今最も、幸せを願い参拝するのである。

全国約三〇〇社余りの住吉神社の総本社である住吉大社は、摂津国一の宮として古くから信仰され、禊祓の神、海上安全の神などとして崇敬されてきた。本殿の建築様式である住吉造は、神社建築史上最古の様式の一つ。現在ある本殿は全て、文化七年（八〇〇年）に造られたもので、四棟ある

新年明けましておめでとうございます。
本会は、平成二十五年四月一日に公益社団法人の認定を受けて以来、資格者団体としての建築士の自己研鑽のサポートはもとより、これまで以上に社会・府民に向けての地域貢献事業に目を向けた施策に力点を置き、具体化の活動を推進しております。

府民の生命及び財産を保護するために、建築物の耐震診断の判定、応急危険度判定士のネットワークの構築、消費者からの身近な建築相談など、建築士と府民の距離を縮める努力を重ねております。

本会の重点施策である建築士のスキルアップと府民の身近な問題への取組みが相乗効果を生み出して、本会がより大きな社会貢献活動の核となるべく、公益目的事業を拡大かつ活性化してまいります。今年になることを祈念いたします。

建築人 1
2014

監修 公益社団法人大阪府建築士会
建築情報委員会
編集 建築情報委員会『建築人』編集部
編集人代表 米井 寛
編集人 荒木公樹 飯田英二
筑波幸一郎 中江 哲
橋本頼幸 牧野隆義
事務局 山本茂樹 母倉政美
印刷 中和印刷紙器株式会社



右ページ
上段：筑波幸一郎
中段：牧野隆義
下段：中澤博史
左ページ
上段：森本雅史
中上段：北聖志
中下段：河野学
下段：奥河歩美
撮影 田籠哲也

紙を反対にしようや」って（笑）。

荒木 さまざま建築誌の創刊を手がけられた石堂威さんが「素人だからこんなことができるんだ。プロの世界では絶対しない」とおっしゃられました（笑）。

活動の場を開く

中澤 北さんは、「界の建築家 石井修」を連載当時どのように見ていましたか？ 北連載は知っていました。正直に言うとあまり意識していませんでした。まさか自分がそのようなことをすることは思つてもいませんでした（笑）。私としては、吉村篤一さんのような建築家のインタビューに一緒に行つてい込んだ、みたいな感じで連れてこられて（笑）。本当は、早い段階でインタビューアの実施を周知して、興味のある人が参加できるようオーブンに募集できるような仕組みを作る必要があると思います。

森本 建築士会のいいところは、いろんな人が幅広く集まつていて、背景もそれだけで全然違うし、そういう人が集まつているというのが魅力なんじやないかなと思います。そういった意味では、広く募集するというのは、とてもいい意見ですね。

牧野 幅が広がりますね。

中澤 今の人数で仕事場に伺うことがいえました。同じ取り組みのだつたら、頑張つてみようと思いました。

一九五二年の建築士会の創設には渡辺節さんが関わられ、会報誌の『ひろば』は一九六四に創刊されています。創刊編集長は浦辺鎮太郎さんで、歴代の編集長には西澤文隆さん等そうそたるメンバーが就任せています。「なるほど、そういう位置付けの中で僕らは動いていたんだ」ということに気づきました。過去を踏襲する必要は全くないと思いますが、素直に、いいところもあつたと思うんです。時代背景が違うので一概には言えませんが、同じ会なのに昔はできて、今はできないのはなぜなのかという課題についても考えなければならぬと思います。

中澤 僕ら、変えていかないといけませんね。

牧野 そうでしょう。僕、別にこんなことを背負うことはないと思っているんですけど。ないとは思つているけれど、これは我々建築士の社会環境なんじやないかな。実情だと思うんです。「仕事ないよ」

「仕事きついよ」とか言いながらみんな頑張つてゐるけれど、これが日本の中の編集体制があつて、クオリティが上がつて、「面白いな」と素直に思つたんです。同じ「編集」と関わつてゐるのにえらい違ひだなと、自分なりに思つことがあります。同じ取り組みのだつたら、頑張つてみようと思いました。

一九五二年の建築士会の創設には渡辺節さんが関わられ、会報誌の『ひろば』は一九六四に創刊されています。創刊編集長は浦辺鎮太郎さんで、歴代の編集長には西澤文隆さん等そうそたるメンバーが就任せています。「なるほど、そういう位置付けの中で僕らは動いていたんだ」ということに気づきました。過去を踏襲する必要は全くないと思いますが、素直に、いいところもあつたと思うんです。時代背景が違うので一概には言えませんが、同じ会なのに昔はできて、今はできないのはなぜなのかという課題についても考えなければならぬと思います。

中澤 僕ら、変えていかないといけませんね。

牧野 そうでしょう。僕、別にこんなことを背負うことはないと思っているんですけど。ないとは思つているけれど、これは我々建築士の社会環境なんじやないかな。実情だと思うんです。「仕事ないよ」

荒木 ステージは変わつていくし、運営する側に回るのか、プレーヤーに徹するのかという話は選んでもらえればいいと思います。ただ、僕、来年思つてるのは、せつかくやつてあるんだけれど、五〇〇部しか刷つてないというのはすごくもつたない。だから、季刊号だけにはなると思うけれども、五〇〇部刷つて、あちこちにばらまくという話は

きたいことをはつきり書いておられる。主張しながらもバランスがとれるような編集体制があつて、クオリティが上がつて、「面白いな」と素直に思つたんです。同じ「編集」と関わつてゐるのにえらい違ひだなと、自分なりに思つことがあります。同じ取り組みのだつたら、頑張つてみようと思いました。

一九五二年の建築士会の創設には渡辺節さんが関わられ、会報誌の『ひろば』は一九六四に創刊されています。創刊編集長は浦辺鎮太郎さんで、歴代の編集長には西澤文隆さん等そうそたるメンバーが就任せています。「なるほど、

そういう位置付けの中で僕らは動いていたんだ」ということに気づきました。過去を踏襲する必要は全くないと思いま

ます。

中澤 僕ら、変えていかないといけませんね。

牧野 そうでしょう。僕、別にこんなことを背負うことはないと思っているんですけど。ないとは思つているけれど、これは

我々建築士の社会環境なんじやないかな。実情だと思うんです。「仕事ないよ」

荒木 ステージは変わつていくし、運営する側に回るのか、プレーヤーに徹する

のかという話は選んでもらえればいいと思

います。ただ、僕、来年思つてるのは、せつかくやつてあるんだけれど、五〇〇部

刷つて、あちこちにばらまくという話は

きたいことをはつきり書いておられる。主張しながらもバランスがとれるよう

な編集体制があつて、クオリティが上がつて、「面白いな」と素直に思つたんです。同じ「編集」と関わつてゐるのにえらい違ひだなと、自分なりに思つことがあります。同じ取り組みのだつたら、頑張つてみようと思いました。

一九五二年の建築士会の創設には渡辺

節さんが関わられ、会報誌の『ひろば』は一九六四に創刊されています。創刊編

集長は浦辺鎮太郎さんで、歴代の編集長には西澤文隆さん等そうそたるメン

バーが就任せています。「なるほど、

そういう位置付けの中で僕らは動いていたんだ」ということに気づきました。過

去を踏襲する必要は全くないと思いま

すが、素直に、いいところもあつたと思

うんです。時代背景が違うので一概には言

えませんが、同じ会なのに昔はできて、

今はできないのはなぜなのかといふ

についても考えなければならぬと思いま

ます。

中澤 僕ら、変えていかないといけませ

んね。

牧野 そうでしょう。僕、別にこんなこ

とを背負うことはないと思っているんで

す。ないとは思つているけれど、これは

我々建築士の社会環境なんじやないかな。実情だと思うんです。「仕事ないよ」

荒木 そうでしょう。僕、別にこんなこ

とを背負うことはないと思っているんで

す。ないとは思つているけれど、これは

我々建築士の社会環境なんじやないかな。実情だと思うんです。「仕事ないよ」

中澤 僕ら、変えていかないといけませ

んね。

牧野 そうでしょう。僕、別にこんなこ

とを背負うことはないと思っているんで

す。ないとは思つているけれど、これは

我々建築士の社会環境なんじやないかな。実情だと思うんです。「仕事ないよ」

中澤 僕ら、変えていかないといけませ

んね。

</div



です。

牧野 タダか、ものすごくいい感じなんか、それは分からなければ。特に「住宅を設計する仲間たち」ということで入ってもらつて活動してもらう。そういう条件で何かできないかどうか。特権とか付けないと、なかなか、「Gallery」への掲載件数が増えにくいのは事実じやないかな。

森本 そういう意味では、発表する場があつたほうが絶対いいですよね。

中澤「住宅を設計する仲間」の、タダで使えるページを作っていくという話が一つですね。

森本 でも、士会の組織というか、チームがもう正式にあるんだから、そこを活用してあげるほうがお互いにいいんじゃないですか。

筑波 その雰囲気が誌面に出ればいいという気がするんだけれどね。確かに、関西とは言わず、大御所を順番にいついで使えば、親子関係以上の関係性があるわけじゃないですか。人生の大先輩をどうするんだという話は絶対ある。それはそれで、大変なことを今までやってきているというのは事実だと思う。そういう意味では、今年は老若男女を入れながらやれると、楽しい一年間になるのかなという気もする。

中澤 インビューしていく、雑誌とかで見る先生が多かつたじやないですか。僕、もともと組織事務所だから、アトリエ系の先生はどういうふうにやつていくのか知らなかつたからということもあるけれど、意外と、苦惱されたり、コンプレックスがあつたり、先ほど奥河さんが言つたように、陰でというかサポートしてくれる、村野藤吾先生には森さんがい

たり、石井修先生には安原さんがいたり、

思つていた感じと違うのが垣間見えるのはいいことだなと僕自身は思います。これをやつていなかつたら分からなかつたから、それはよかつたなと思います。

あと、自分自身も、社会性をあまり意識していないかたけれども、インターネットを通して、自分の設計の中でもそぞうやつていこうと考えるようになつて、それもよかつたと感じていますね。

筑波 その雰囲気が誌面に出ればいいという気がするんだけれどね。確かに、関西とは言はず、大御所を順番にいついで使えば、親子関係以上の関係性があるわけじゃないですか。人生の大先輩をどうするんだという話は絶対ある。それはそれで、大変なことを今までやってきているというのは事実だと思う。そういう意味では、今年は老若男女を入れながらやれると、楽しい一年間になるのかなとい

う気もする。

森本 でも、僕は、このインタビューに關しては壁にならないといけないと思つているんです。森本が何を思つたなんか、読者は聞きたくないはずなんですよ。それに意義があると思つてやつてているんで返すということないと価値がないんじゃないかなと思う。できるだけ正確に伝える方が残るものになると思ひます。

筑波 そうそう。でも、取捨選択しているところで自分は出ていると思うけれどね。何を伝えないとけないかというところで、自分のオリジナルは出ていると判断ではあるんだけれども、「こう感じました」とかいうのは要らないと。何を残しておかないと、何を残しているから、それは十分表現できていますね。

「大阪ホンマもん」

牧野 僕は、「大阪ホンマもん」をやつていて、毎月月末くらいになつてくると、「そろそろ本気で書かないと」というふうに、ほとんど習慣みたいな感じになつています。

中澤 まとめて撮りに行つたらしいんじやないかなと思う。

牧野 まとめてといつたらおかしいけれど、今意識しているのは季節というか、背景というかバックグラウンドを意識して一緒にやつっています。

森本 こんなのこと、展覧会をやつたら一般の人に足を運んでもらえそうですよね。

牧野 この前、江戸堀のヴォーリズの教会を、一緒に中に入つて撮影したんですよ。

行くと、いろいろ発見がある。二階に

礼拝堂があつて、木造の階段を上がつて

行って、パッと開けてもらつたら、スローープが緩やかに付いています。本当に緩いスロープが祭壇まであって、何か気持ちよくさせてくれるわけです。見返しがなつて二人とも直感で思い、見返しを撮りました。

何か、そう思つたときに、九〇年以上の建物なんだけれど、椅子を始めとする家具は全部オリジナルのままで、傷がついているんですが、その風合いも含めて、さらに心地よくなつてきた。牧師さんの話を見ければ、「こんなことあつたんだな」と思う。そしたら、また書きたいことも変わつてくるのです。

中澤 田籠さんと二人のペアでおり合いで撮つてきたものを送つてくれていてるんです。彼は彼なりに撮つてきただけで、僕が載せていないんです。

中澤 あおり合ははあるね。彼は彼なりに撮つてきただけで、僕が載せていないんです。ただ、今意識しているのは季節というか、背景というかバックグラウンドを意識しているんです。

牧野 おおり合ははあるね。彼は彼なりに撮つてきただけで、僕が載せていないんです。

中澤 そういうことになつてゐるんだ。

牧野 一応話し合いをして、「次はこれやで」ということもあるけれども、それだけれど、僕が載せていないんです。

中澤 そういうことになつてゐるんだ。

牧野 一応話し合いをして、「次はこれやで」ということもあるけれども、それだけれど、僕が載せていないんです。

田籠 全部没にされているんですよ。僕は「これがいい」つて出しているんですけど、結局「来月これでいくで」という感じで、「送つたやつはどうなつたん?」みたいな。

大阪ホンマもん

ここでは、当誌連載「大阪ホンマもん」の二〇一二年四月号から二〇一三年一二月号までの掲載分を一覧とした。

「大阪ホンマもん」では、大阪府内に存在する建造物や場

について、「ホンマもん」として価値あるものを拾い上げる作業を重ねている。これらは、

編集人牧野隆義と写真家田籠哲也の協働の成果である。

この連載で取り上げた建造物のなかには、残念ながら既に存在しないものや解体の時を待つものもある。二人の取り組みは、貴重なアーカイブにもつながると確信する。



大阪ホンマもん

ここでは、当誌連載「大阪ホンマもん」の二〇一二年四月号から二〇一三年一二月号までの掲載分を一覧とした。

「大阪ホンマもん」では、大阪

府内に存在する建造物や場

について、「ホンマもん」として価値あるものを拾い上げる作業を重ねている。これらは、

編集人牧野隆義と写真家田籠哲也の協働の成果である。

この連載で取り上げた建造物のなかには、残念ながら既に存在しないものや解体の時を待つものもある。二人の取り組みは、貴重なアーカイブにもつながると確信する。



上段：小畠雅史
中段：広瀬和也
下段：荒木公樹
撮影
田籠哲也



ここでは、当誌が紙媒体として命が吹き込まれる和歌山市の中和印刷紙器株式会社の風景をお伝えする。当誌は毎月、ここで版下作成・印刷・製本・封入・発送がなされ、会員の手元に届けられている。

中和印刷紙器株式会社と本会は、当誌の前身の『HIROBA』時代からの長い関係を持ち、全ての工程にわたる丁寧な仕事が当誌の質を担保している。建築をつくることと同様、本誌は、中和印刷紙器株式会社の多くのスタッフの方々の協力により成り立っている。

写真
田籠哲也

牧野 だから、僕はそれを展覧会で発表したい。その中にすごくいいものもあるのよ。載せたいけれども、ここではないというのも事実あるのよ。それも合わせて僕は別建てでしたいのよ。そういう思ひが個人的にあるのと、毎月やっているからネタがなくなると思うのだけれど、意外とそのテーマで伝えたいことがあるもんだなと思って。

森本 匿名性の高い企画なんだけれど、多分に二人のキャラクターが出ていると思う。

中澤 これこそ、「遊んでいる」ってやつやね。

牧野 この建物なくなるかもしねれないよという話をお互いしながら、「今月、これ、行つておこう。行つとかなあかん」とかいうのをリアルタイムでやつて載せている。「やっぱり、これ、行つて起きたい」とか。言い方悪いけれども、そういうのも普通の雑誌だったら絶対できなさい。ここに会報誌ならできるかなということで、利用しながら遊んでいるのかかもしれない。

今まで掲載してきたものも無くなつたものは結構多い。大阪中央郵便局とか、残念ながら大林ビルもその候補の一つだろうし、村野藤吾さんの旧新歌舞伎座も、いずれなくなつてしまふと思う。すべて

かもしません。

編集活動に参加することの意義

牧野 僕は、初め、建築士会というより、こういうところでもじめに建築を勉強したいと思って入つたけれど、別にここでなくともよかつたんです。たまたま入つたところがここだつたから、今一生懸命勉強しているということが言えます。

やつているときは、盲目的に一生懸命作ろうとするじゃないですか。結果的に遊んでいるんですよ。でも、編集の立場だから、全体を見ながら、読者がどういうふうに見て思うのかということは、常に意識しています。写真をこうしようと、ああしようかというのも、小さなことかもしれないけれど、そのことが社会文化する上で役に立つたりすることが多いから、そこが僕らの役割の一一番しんどいところで、一番僕らにとつて遊ぶところだからね。

筑波 仕事でもそうだけれど、嫌な事が来たときに本気で取り組んで面白くやつたら、いい結果になる。一気にすべての物事ができればいいんだけど、協力してもらうだけだと義務になるからうまくいかないのであって、やはり面白がつてることを前提に、その仕組みをつくることから始めないといけない。

筑波 それもあるけれども、女人の人気が入つて来ないと活性化しないね。この間、案内人が地元の美術館の先生で、面白おかしく話してくれて、「最近は、出雲大社とかお寺は、女の子ばかりですわ。お寺女子とか言うんですね」「昔は、おじいちゃん、おばあちゃん、よぼよぼの人しか来なかつたのに、もう若い女の子ばかりが来るから、すごくいいですね」とか言つて、すごく楽しそうだつたんです。そうやな、それやと思つて（笑）。

森本 だから、高齢の会員向けどうのこうのと言つていたけれども、僕、そこじやないと思うんです。若い人に向けて作るべきじゃないかというのが、僕の前提なんですよ。

牧野 どうやつて『建築人』を一般化、社会化していくかという仕組みの話は、僕らの宿題なんですよ。たまたまゼネコン設計部の方にお会いしたときに、『建築人』を社内の方に読んでもらつて、と聞きました。森忠一さんの話があつて、彼らは森さんがどのような人物か分からなかつたけれど、特集号で初めてよく分かつたと教えていただきました。

だから、どちらかというと、専門的にすると僕らは思つてしまふ面も、ある人にとつては、もつと身近で、「ああ、

につながっていることを実感しました。ただ、見せ方と、いうのはいろんな編集の仕方もできると思うので、もう一つ次のテーマとしたら、会員に対してもう喜んでもらうということを第一にこの二年間はやつてきたけれど、来年度は、もう少し幅を広げていくということをやつていただきたい。

中澤 混ざっているほうが絶対にいいと思う。ベテランばかりじゃなくて、バラエティがあるほうが楽しいだろう。

筑波 だから、建築家だけでなく、例えばゼネコンもありだと思うし、組織設計事務所もあります。そういうのもあるし、芸能関係であったり、舞台の人であったり、技術の人であったり、建築とも少しかかわりのある人であったり、あるいは、そういうことが語りができる人というのもありだと思う。牧野 幅と、いろいろ混ぜていくというのが今後は必要だと思っています。

筑波 幸一郎
1968年 大阪府生まれ
1992年 京都市立芸術大学美術学部
デaign科環境デaign卒業
1992年 株式会社大林組
2005年 筑波建築設計工房を設立
　　浜南大学・京都市立芸術大学
非常勤講師

牧野 高尚
1969年 和歌山県生まれ
1988年 和歌山県立和歌山工業高
等学校建築科卒業
1993年 伊東建築計画室
2000年 Atelier PICT設立

中澤 博史
1969年 大阪府生まれ
1992年 近畿大学理工学部建築学科卒
1992年 株式会社大建設計
1998年 中澤建築設計事務所設立

森本 雅史
1974年 三重県生まれ
1998年 京都工芸繊維大学大学院
(博士課程前期)修了
1998年 株式会社東畠建築事務所
2009年 森本雅史建築事務所設立
近畿大学工業高等専門学校
非常勤講師

北 聖志
1976年 大阪府生まれ
2001年 神戸大学大学院(博士課程
前期)修了
2001年 二井清治建築研究所
2007年 THNK一級建築士事務所
設立
近畿大学非常勤講師

河野 学
1979年 大阪府生まれ
2008年 大阪大学大学院(博士後期
課程)修了
2008年 大阪大学大学院特任研究員
2009年 大阪府立工業高等専門学校
講師
2013年 京都市住宅供給公社

奥河 歩美
1976年 兵庫県生まれ
2001年 神戸大学大学院(博士課程
前期)修了
2001年 共同設計株式会社
2007年 O+O architects
2010年 空間計画株式会社

- 1976年 奈良県生まれ
- 2004年 神戸大学大学院(博士課程
前期)終了
- 2005年 (株)いしか設計集団
- 2010年 荒谷建築研究所
- 2012年 小畠雅史建築設計事務所
設立

廣瀬 和也
1983年 兵庫県生まれ
2009年 大阪市立大学大学院(前期
博士課程)修了
2009年 株式会社東畠建築事務所

本特集責任編集人
荒木 公樹
1971年 大阪府生まれ
1995年 神戸大学工学部建築学科卒業
1995年 建築環境研究所
2003年 空間計画論立論

大阪府建築士会および建築人年表 1952–2014

作成:荒木公樹+牧野隆義

	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
会報・ひろば・HIROBA 建築人に関する出来事	1952.8 「会報」創刊号 1954.10 「会報」近畿建築士会 合同編集第1号	1964.4 「会報」通巻35号にて終刊 1964.5 「ひろば」創刊	1977.4 第1回ひろば作品賞 (2005年までに30回開催)	1984.1より「ひろば」→「HIROBA」へ改題 「建築のこころ」連載(西沢文隆・1984.1~1986.7) 「建築家の世界」連載(狩野忠正・1985.1~12) 「建築・人と作風」連載(向井正也・1986.8~1987.11) 「現代建築批評」連載(向井正也・1988.1~12)	2005.12 「HIROBA」500号にて 終刊 2006.1 「建築人」創刊 2008.1 「記憶の建築」(松隈洋) 連載を開始	2012.4 「建築人」リニューアル 特別号年4回、一般号年8回発行 建築人(けんちくびと)連載を開始	
会報・ひろば・HIROBAの歴代編集長	稗田治(1952~1955) 恒岡俊行(1955~1961)	尾崎久助(1961) 奥島正一(1962) 田中弥一(1962~1963) 以降「ひろば」 浦辺鎮太郎(1964~1966) 西澤文隆(1967~1968)	岡橋作太郎(1969~1972) 小林清(1973~1974・1979~1982) 岡本行善(1975~1976) 五十嵐定義(1977~1978)	長谷部朔郎(1983~1986) 松村慶三(1987~1989)	狩野忠正(1990~1994) 吉羽逸郎(1995~2000)	竹原義二(2001~2002) 貴志雅樹(2003) 松野淳(2004) 安達英俊(2005)	
大阪府建築士会に関する出来事	1952.3.29 大阪府建築士会創立 1954.3 第1回大阪建築コンクール開催 (2012年までに58回開催)	1960.11 建築士連合会全国大会を 大阪にて開催		1981.12 第1回大阪まちなみ賞 (2012年までに32回開催)			2011年 建築士会全国大会 (大阪大会)震災のため中止
大阪府建築士会の会長・主な理事	会長:渡辺節(渡辺節設計事務所) 1952.3.29~1966.3.31 副会長:鶴尾九郎ほか 理事:村野藤吾・東畑謙三 浦辺鎮太郎・大林芳郎ほか	会長:小河吉之助(小河建築事務所) 1966.4.1~1982.3.31 副会長:森忠一・浦辺鎮太郎 足立孝ほか 理事:西沢文隆ほか	会長:小西岬(小西設計) 1982.4.1~1994.3.31 理事:狩野忠正ほか	会長:白石靜二(鴻池組) 1994.4.1~2000.5.23 理事:出江寛ほか	会長:宮崎八郎 (宮崎建築設計事務所) 2000.5.24~2008.5.27		会長:柳川陽文 (小河建築設計事務所) 2008.5.28~2012.5.29 会長:岡本森廣 (全日本コンサルタント) 2012.5.30~現在
会員数の推移(正会員)	<p>正会員数 1952年創設時 734名 最大時(1991年) 7,391名 2013年11月現在 2,946名 (うち一级2,488名・二级450名 ・木造8名)</p> <p>正会員年齢別構成(2013年8月現在) ~39才 6% 40~49才 21% 50~59才 29% 60~69才 30% 70才~ 14%</p> <p>正会員勤務先分類(2013年8月現在) 建築設計事務所 54% 建設業 25% 官公庁・学校 4% 住宅産業・建材 6% その他 11%</p>				<small>会報創刊号(1952年)</small> <small>会報最終号(1964年)</small> <small>ひろば創刊号(1964年)</small> <small>HIROBAへの改題号(1984年)</small>		<small>HIROBA最終号(2005年)</small>
会費の推移	1,200円(1952~60年)	1,800円(1961~64年) 2,400円(1965~68年)	3,000円(1969~71年) 3,600円(1972年) 4,200円(1973年) 5,400円(1974年) 6,000円(1975年) 7,200円(1976~79年)	9,000円(1980~84年) 10,800円(1985~90年)	12,000円(1991~95年) 14,400円(1996~2001年)	19,800円(2002年~)	
社会・建築界の主な出来事	1950 建築基準法・建築士法公布 1951 第1回一級建築士免許 3100名発表 1952 日本建築士会連合会設立総会	1964 東京オリンピック開会	1970 日本国博覧会開会 1972 沖縄返還 1972 日中国交正常化	1986 チェルノブイリ原子力発電所 事故 1989 六四天安門事件 1989 ベルリンの壁崩壊 1989 日経平均株価ピーク38,915円	1991 バブル景気後退 1991 ソ連崩壊 1995 阪神淡路大震災	2001 アメリカ同時多発テロ事件 2005 構造計算書偽造問題公表	2011 東日本大震災 福島第一原子力発電所事故



Gallery 建築作品紹介

清風南海学園キャンパス整備事業

設計：日建設計
施工：清水建設



私立の中高一貫校である清風南海学園の創立50周年事業として、新校舎の建設を中心としたキャンパス全体の再構築を行い、キャンパスイメージの刷新、学園を象徴する朝礼の場づくりが求められたプロジェクト。全生徒が一堂に会する朝礼の場となる中庭は、毎日の般若心経読誦の舞台となり、6年間一日の始まりの時間を過ごす場所として、キャンパスの中心に位置づけ、校舎で囲まれた安心感のある配置とした。外装はスレンダーなコンクリート打ち放しの柱・梁の構造体を現し、柱間に設けた縦ルーバーを連続させることにより、軸体そのままの力強さを表現するとともに、環境性能を高めた。(渡辺豪秀／菅原幸也／村井健治)

所在地：大阪府高石市
用途：中学・高校
竣工：2013.9
構造規模：RC造4階
敷地面積：15,589.27m²
建築面積：4,396.59m²
延床面積：11,314.76m²
写 真：フジタ写真工房

Gallery 建築作品紹介

京都市成長産業創造センター

設計：日建設計
施工：錢高組



京都市南部「らくなん進都」に建設された産学公連携の研究施設である。最先端の技術シーズを事業化へ橋渡しするプロジェクトを展開。更にオープンイノベーション的交流の場として研究開発や企業活動の広がりを推進する役割を担う。ラボに求められる機能とフレキシビリティーを備えつつ、区画毎に設けた玄関や窓により入居者の顔が見える構成とし、研究者相互の自然な交流を促す。更に低層部には外部との結節点として、カフェや会議室を設けた。外観は、開放的な表情を持つ低層部を近景、設備バルコニーをH型鋼のルーバーで覆った高層部を遠景の顔として意識。両者の融合を図ったデザインとした。(岡田泰典／赤木建一)

建 築 主：(公財)京都高度技術研究所
所 在 地：京都市伏見区
竣 工：2013.9
構造規模：S造(一部SRC造)
敷地面積：2,999m²
建築面積：1,348m²
延床面積：5,938m²
写 真：東出清彦
写 真事務所

Gallery 建築作品紹介

立命館大学 京都衣笠体育馆

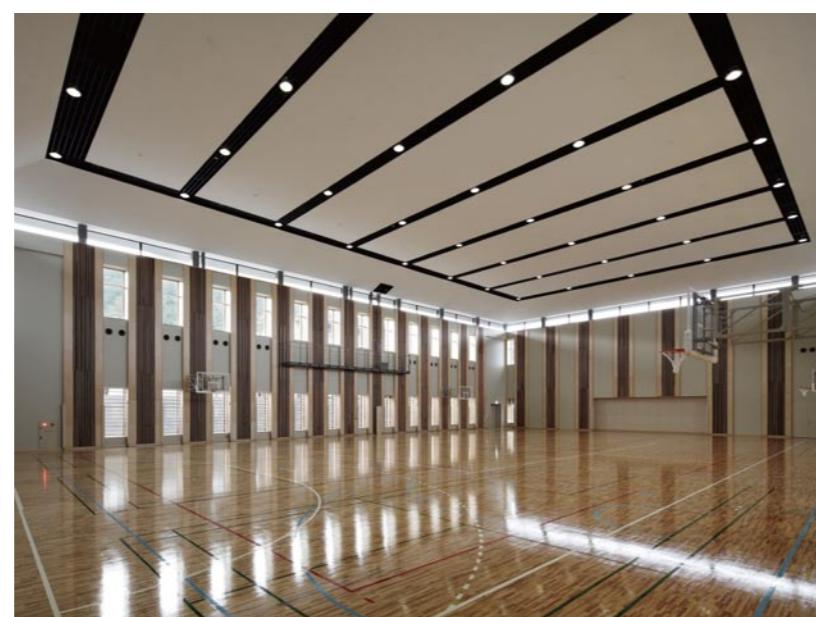
設計：竹中工務店
施工：竹中工務店



Gallery 建築作品紹介

風の子保育園

設計：井上久実設計室
施工：日本建設

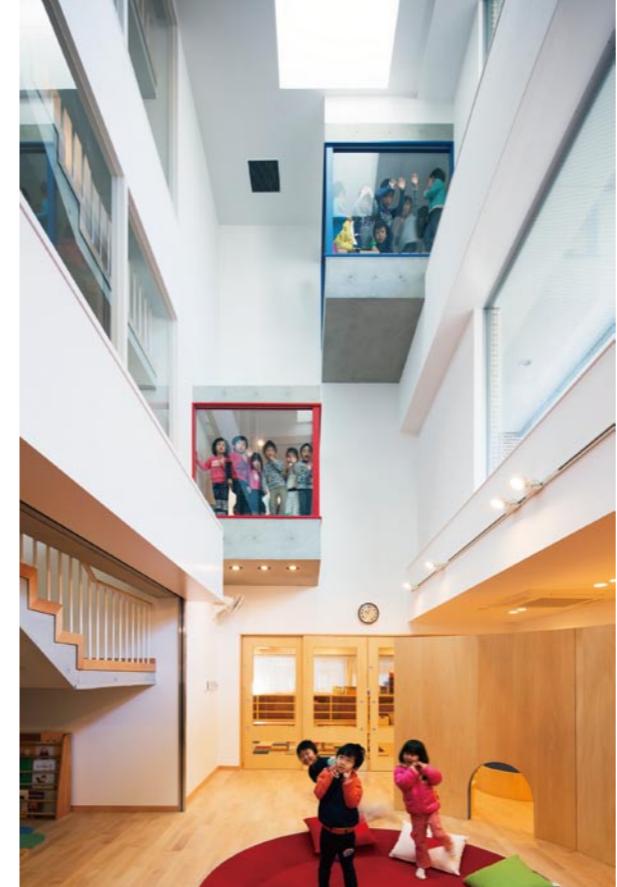


老朽化した2つの体育館を新築と減築により統合する計画である。

アリーナを2段積みし、地下15mに及んだ大規模な地下体育館に幅6mの光庭を最下階まで設け、光と風を導く計画とした。
地下湧水を太陽光パネルの効率低下を軽減させる冷却流水として用いる屋上水盤や、広場化した減築棟上部に残された壁など、龍安寺につづく立体的散策路に修景要素をちりばめることで環境教育要素を見る化している。人・まち・地球上にやさしい持続可能な都市型建替校舎の先導事例として、狭隘化したキャンバス再整備のさきがけとなることを期待している。

(永井 務)

建築主：学校法人立命館
所在地：京都府京都市
用途：学校（大学）
竣工：2013.9
構造規模：SRC造+S造
地下3階
地上1階
敷地面積：5,927.55m²
建築面積：2,391.34m²
延床面積：9,409.49m²
写 真：益永研司



園児達にとって、保育園は第2の住まいです。一日の大半を過ごすこの園内のどこにいても、伸び伸びと過ごす事が出来つつも、五感が刺激される遊びのある空間を目指しました。

この都心型の120人収容の保育園は四階建てですが、上下階の繋がりも隣接する保育室同士の繋がりも、境界が感じられないものとしています。保育室の外側の廊下に広がりを持たせる事で、保育エリアを拡張させ、更にはガラス張りの階段までその領域を広げています。三層吹抜けの光庭を囲む外廊下や階段はループ状に配され、園児達が保育室を飛び出し元気に走り回る様が、施設全体に微笑ましい活気を与えています。

所在地：大阪市東淀川区
用途：保育所
竣工：2013.10
構造規模：RC造4階建
敷地面積：893.93m²
建築面積：481.75m²
延床面積：1444.37m²
写 真：雷田英次

連載第四回 桜田洋子

一九八四年 京都工芸織維大学工芸学部
住環境学科卒業
一九八四年 川崎建築構造研究所
一九八九年 桃李舍設立
一九九三年 京都工芸織維大学学院
工芸科学研究科修士課程修了
非常勤講師
現在 京都工芸織維大学、岡山県立大学

卷一

卷之三

(卷二)

10

10

10

建築構造案内



「――三年度のHIROBAは、「建築構造案内」と題して、関西で活躍する構造設計者にインタビューし、その人物像や考え方を紹介していく。

第四回は第三回に続き、桃李舎の代表、
桝田洋子氏。昨年の創立二十五周年記念
パーティーは、多くの人がお祝いに駆け
つけ、手作りの心温まるものであつた。
今回は、そのように多くの人々を惹き
寄せた桝田氏のこれまでの活動と、その
楚となる想いを伝えたい。

言葉のない構造計算書

「驚いたのは、計算書に『言葉がない』ということです。応力、断面算定、淡淡と数字が並んでいるだけというのが実に多、多。」(同上) まさに「見つけ出さない」

多いです。例えば数字だけを見るときり

ベースとし、背面ゾーンの一、二階に箱状の収容室六十室配置します。

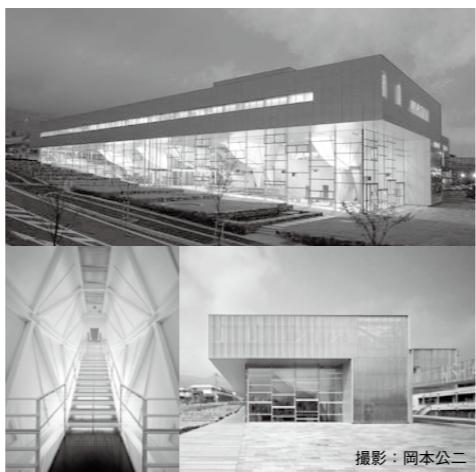
構造計画は、背面の箱でしつかりと耐震要素をとり、前面はRCスラブを自由に折り曲げて、という風に、RCの壁式

構造で考えました。ところが、施工者から『そんなスラブは打てない。エキスピーションで切って前は鉄骨にしたい』と言われました。オーナーの指定業者なので立場が強いのです。それは建築のコン

最終的には、全て鉄骨で計画しました。背面は、カチッとしたラーメン構造。前面は、背面から独立した上がり下がりのあるプレートを細い柱が支えていて、全体が大屋根で一つにつながっているという構造です。前面の長手方向は、長い柱と短い柱が混じった架構になっています。長い柱は座屈耐力が小さいので、曲げはかけたくない。軸力だけでもしんどいのに、そこに曲げが入つたらもつとしんどくなる。でも、短い柱が混じると、剛性の高い短い柱に地震力が集まつて、座屈耐力がある柱で曲げが負担できるので、同じ柱の太さでも役割分担ができる。結構これっていいな、と思つたのが、西有田のプロジェクトにもつながつてい

「打合せに行つたとき、L字型の長い模型がポンと置いてあつたんです。屋根のはね出しが十五メートルくらいあつたと思うのですが、そんなのはできるはないので、最初はあきらめてもらおうと、いうつもりで、考え始めました。

十五メートルのはね出しほ、一層分に相当する四メートルの高さのトラスなら、やれないことはないんですね。そこでまず『並んだトラスで部屋が分断されるのでは、建物として使い物にならないでしょ』と、設計者の末廣香織さんにファックスを送ると『いや別に、間仕切りはある程度必要だから、これでもいい』と。あきらめてもらうつもりがそうならないくて『うーん』と思つたんですが、考えて続けるうちに『トラスを二枚セットにして一体にすると数を減らせるから、部屋の分断が緩和できる。トラスも立体になるとボリュームが出るから安定するな』とか『はね出しが長くなるのは、頬杖で



西有田タウンセンター

ぎりの設計の場合、『何か担保があつてそ
うされているのですか?』と聞いて『こ
の部分は、計算にはのらないけれど、実
際には効くと思っている』とか、設計者
とそういう話ができたらと思います。ど
ういうふうに考えて計画したのか、『思想』
の部分を知りたいので、できるだけヒア
リングや面談をさせてもらっています。
木造の判定では、意匠事務所の若い人
が不慣れな計算書を作っていることが
あって、『事務所に来てください、計算
書の作り方を教えます』って言つたこと
もあります(笑)。そんなふうに私は自
分なりにいいと思う形でやっています。
当初、適合性判定のシステムができる
と聞いたときは『ピアレビュー』の導入
かと期待しました。役所の人ではなく、
同業の実務者と、対等な対話を通して建
物の評価を得るという形なら、建物の本
質的に多くの方へ届けられるので、

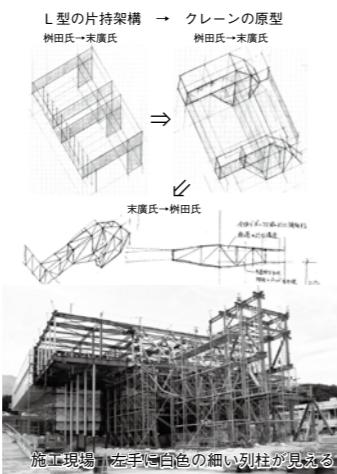
「以前は、構造形式にとらわれず、形を素直に表わすとそうなった、という構造計画ができました。でも今は『（構造）という型にはまらない構造は、申請機関が受け付けてくれなくて苦労します。建築家と打合せをするときも、まず『申請をどうやって通そうか？』と考えるようになりました。」

偽装事件直後は審査がもつと硬直化して、たので、仕事の意欲を失くして、専門的な指摘が増えただけですね。」

——構造計算書偽造事件後、確認申請自体も通りにくくなりました。

した。そんな時に日本建築構造技術者協会(JSCA)からJSCA賞募集の一斉メールが来たんです。『構造技術者の社会的地位向上のためには、自ら声を上げることも大切です』。二〇一一年三月、日

YKK黒部堀切寮
「その西有田につながる建物として『YKK黒部堀切寮』があります。入居者は十代の女性なので、オーナーからは、死角のないセキュリティの高い建築を要求されました。でも、自由な暮らしも楽しませてあげたい。そこから『みながら開く』というコンセプトが生まれました。プレートを連続させて、いろいろな場所を生み出すという計画です。建物を長手方向に二つのゾーンに分けました。前面ゾーンを階段やスロープで上がつたところへ、『西有田タウンセンター』という建物で応募したところJSCA賞をいたぐことができました。」



The diagram illustrates the progression of the truss system. It starts with a simple L-shaped frame labeled 'L型の片持架構' (L-shaped cantilevered frame) and '樹田氏→末廣氏' (Kodera → Mochizuki). An arrow points to a more complex truss structure labeled 'クレーンの原型' (Prototype of a crane), also attributed to '樹田氏→末廣氏'. A second arrow points down to a detailed technical drawing of a truss joint, labeled '末廣氏→樹田氏' (Mochizuki → Kodera). The final image shows a large-scale construction site featuring a massive truss structure supported by scaffolding, with the text '小笠原・大庭の高層木造建築' (High-rise wooden buildings in Ogata and Koganei) and '樹田氏による設計' (Designed by Kodera).

補強して』『重心を後ろに下げたいので、後ろにもはね出しを』とか、やつていてるうちに『グレーンみたい』と楽しくなつて…。』

——有機的な形状ですね。

「そうなんです。『ちょっとこの方向で考えてみます』と言われて、次に末廣さんから来たスケッチがこれです。もつと有機的に（笑）。私、このスケッチを見たときに、やっぱり建築家はすごいと思いました。構造設計者は、いきなりここには絶対飛躍できませんから。」

柱と長い柱が混じっていて、長い柱には曲げが入りにくく構造になっています。——列柱は全て同じ部材寸法なのですか？『同じです。JSCA賞の現地審査でも聞かれました。『クレーンがある所などでは軸力が異なるのに』と。でも私は『径が同じで厚みが違えば、発注時や現場で間違うもとです。それに、もしこのねが持たせるべきでしょう』と答えたんです。審査員の方々からは『僕が構造設計者ぢやないから、設計では厚みを変えてるって、見付

を打つと、その水平材は不要になります。ある審査員の方が、クレーンの内部階段を歩きながらその部材に気付かれて質問され、『床で固まって不要になるなら、取った方がスッキリする』と言われたんですね。でも私は『自立したクレーンが並んで床を支えているというコンセプトなので、取りませんでした』と答えました。『それはそうだ』『いや僕なら取るな』と、また意見が分かれ、そういう場面が何度もありました。審査の間、私は、これこっそり理想的な『ピアレビュー』と思つていました。同業者との自由なディスカッションほど有意義なものはありませんね。』

木造建築

——一九九五年に阪神淡路大震災があり、その頃から、木造にも広く取り組まれていらっしゃいますね。

「はい。木造住宅の被害は衝撃でした。種園の耐震改修をして欲しい、という依頼が来たんです。経験がなかつたので調べると、震災の教訓から、告示で仕様規定が強化され、金物を使わない伝統構法の建物は、建てられない状況になりました。

京都や奈良がある関西では、そういう状況に危機感を持った実務者や研究者が、日本建築学会に特別研究委員会を立ち上げていました。一九九九年です。ちょうど実物大のお寺の架構の振動実験をするというので見に行つたのですが、ぎしぎしと大きな音を立てながら揺れても倒れない、大きな変形能力に驚きました。その日をきっかけに、設計法の開発に参加することになりました。

柔らかくしなやかな建物には、振動の理論を使つた設計法がふさわしいことがわかりました。設計マニュアルは、ちょうどその頃告示に加わった『限界耐力計算』に乗せる形で完成しました。ところが、これまで、合板や筋かいで木造をかたく強く作る基準を作ってきた東京の先生方からは、反発を受けました。もともと『限界耐力計算』は、鉄骨やRCの建物を想定した設計ルートだったから、盲点だつたと思います。しかも性能設計なので、仕様規定をはずすことができます。地域によつて異なる大工さんの技を生かす設計法として、全国を旅芸人のように

まわつて講習会をしました。新しい設計法ができた当時は、熱烈に歓迎される一方で、伝統構法の大工さんの中には『大工の深淵な技が計算なんかで分かるのか?』という人もいて、気が滅入ることもありました。また、木に関する環境問題にも無関心でいられなくなつてきました。』

j.Pod

「そこで、j.Podという木造のユニット工法の開発に、共同で取り組みました。

国産のスギで作った口の字型のフレームを等間隔に七本並べて鋼製のアングルで結合した箱（Pod）が基本ユニットです。

このPodをジョイントして建物にします。フレームの仕口は薄鋼板+釘という現代の技術で作るので、熟練の大工さんでなくとも作れます。木どうしのめり込みや摩擦といった伝統構法の特徴が活かされています。フレームとPodは、実験によって、大きな変形性能と耐力を確認しています。性能がわかつたPodを組み合わせて建物を作るので、安全性についても考慮の心配はありません。

スギ材は同一サイズなので、計画的な伐採ができます。現場では中ボルトで組み立てるので、施工も簡単。Pod単位で、増築も減築もできます。フレームには、通し番号と製造者と製造年をスタンプしています。リカレン特（循環）を意識したシステムです。』

——桃李舎の下の駐車場に、実際にj.Podを建てられていますが、どのように使われているのですか。

「賃貸オフィスとして使ってもらつて、毎月、消費電力を計測しています。これ

を建てた二〇一一年の夏は、計画停電があり、社員を在宅勤務させる企業もありました。震災で大きな代償を払つたけ

ど、社会はこれで変わる。小さな家で消費電力を減らして、コンパクトに暮らし、在宅勤務で通勤ラッシュもなく、仕事のスタイルを変えて、暮らしを楽しみ、成長なんでもうしなくていいじゃないか」と考えていました。そんな暮らしをよ」と発信していこうと思っています。』

自分たちで実践して、『こういうのがあるよ』と考えていました。『そういうのがあるか、と考えていました。そんな暮らしを自分で実践して、『こういうのがあるよ』と考えていました。』

か、と考えていました。『そういうのがあるよ』と考えていました。』

自分たちで実践して、『こういうのがあるよ』と考えていました。』

かあつたときには『あの人があれだけやつてもだめだつたのだから仕方がない』と、お施主さんに許してもらえるように、全

てお施主さんと関係としてはどうですか。建築家のアイデアスケッチやコンセプト模型を前に、最初の打合せをするときは、どこに着地させようとかは考えていません。相手もそうですね。一緒にスケッチブックを広げて電卓を叩きながら、ぽつぽつアイデアを出し合つているうちに、ストーリーが見えています。だんだん熱中してやつてるうちに収斂していくという感じですね、構造計画の最初は、現在の施工技術があれば、たいていのものは造ることができます。でも、力学的に合理的でないものは造りたくありません。もしも建築家が自分のデザインの実現のために、構造を置き去りにするようなことになつたら……、いえ、今、一緒に仕事をしている建築家にそんな人はいませんけど（笑）、私はお施主さん側に立つて、その人を守ります。お金を預かって、命も一緒に預かる。そこで冷静な判断ができるのは、構造設計者しかないと思つうんです。』

構造の仕事の進め方、建築への関わりや取り組み方、人柄を含めた考え方、全てが魅力的で、それが穏やかで優しい語り口にのつて、温かくすつと入つてきた。この「建築構造案内」を通して、構造設計の面白さが伝わつていれば幸いである。

聞き手／牧野隆義・谷川健一・荒木公樹・奥河歩美・中村尚子（文責）

希望は星に、足は大地に

瀬尾忠治

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

小林務

株式会社 石本建築事務所大阪支所
大阪市中央区南本町2-6-12
(サンマリオンNBFタワー)

松村慶三

浦辺設計
大阪市中央区北浜2-1-26
(北浜松岡ビル4F)

環境に配慮した企業活動で社会に貢献します

阿部弘明
桑原宏明株式会社 空間デザイン
吹田市垂水町3-29-2

社会と環境の調和を計る都市創造企業

川邊浩藏
株式会社 蔵建築設計事務所
大阪市西区立売堀1-7-18

謹んで新春の祝詞を申し上げます。

湯浅安彦
株式会社 小西設計
大阪市西区立売堀1-12-16

皆様にとってよき年でありますように

井上まるみ

住まいの研究室
大阪市北区鶴野町4-11
(朝日プラザ梅田1103)

宮川明夫

株式会社 総合積算
大阪市北区東天満1-11-19

岡本慶一

株式会社 日建設計
大阪市中央区高麗橋4-6-2

佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所
大阪市中央区島町2-4-7

建設会社

取締役社長 白石達
専務執行役員
大阪本店長 長谷川博本社: 東京都港区港南2-15-2 電話 03(5769)1111
大阪本店: 大阪市北区中之島3-6-32 電話 06(6456)7000専務執行役員
支店長 押味至一関西支店: 大阪市中央区城見2丁目2番22号 電話 06(6946)3311
本社: 東京都港区元赤坂1丁目3番1号 電話 03(5544)1111

For a Lively World

常務執行役員関西支店長 山田文啓
<http://www.taisei.co.jp/>

取締役社長 宮下正裕

大阪本店 大阪市中央区本町4-1-13
TEL 06(6252)1201
東京本店 東京都江東区新砂1-1-1
TEL 03(6810)5000

宮崎八郎

宮崎建築設計事務所
大阪市中央区西心斎橋1-1-11
(心斎橋西ビル8F)

柳川陽文

株式会社 小河建築設計事務所
大阪市中央区博労町1-7-16
(CSTビル)

澤本侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スマビル10F)

改革の断行から社会貢献へ

岡本森廣

全日本コンサルタント株式会社
大阪市浪速区港町1-4-38

上田茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

安心・安全な住まい環境の創造

西邦弘

株式会社 キンキ総合設計
大阪市中央区谷町4-5-9
(大阪屋谷町アーヴィング4F)

濱田徹

鹿島建設株式会社
大阪市中央区城見2-2-22

田中義久

株式会社 田中都市建築事務所
大阪市中央区本町橋5-14
(OZ本町橋BLD902)

稻葉繁夫

株式会社 繁建築構造設計事務所
大阪市中央区農人橋2-1-30

社会貢献を大切に取り組みたいです。

今井俊夫

今井環境建築事務所
大阪市阿倍野区阪南町3-31-6

尾鍋裕実

尾鍋建築設計事務所
藤井寺市小山9-11-17

For the best life: 総合住生活提案企業

小嶋和平

サンヨーホームズ株式会社
大阪市西区西本町1-4-1

徳岡浩二

株式会社 徳岡設計
大阪市北区西天満6-3-11-205
大阪・東京・兵庫・滋賀・九州

森田茂夫

神戸市灘区摩耶海岸通1-3-22-601

山本尚子

山本尚・設計工房
大阪市天王寺区東高津町12-13-1405

平平安安 深深謝謝

横田友行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

米井寛

株式会社 東畑建築事務所
大阪市中央区高麗橋2-6-10

山城健児

コーナン建設株式会社
大阪市北区大淀南1-9-10

あけましておめでとうございます

宇澤善一郎

アトリエ・U
和泉市池田下町1699

岩永裕人

株式会社 アール・アイ・エー
大阪市北区堂山町1-5
(三共梅田ビル)

建築設計事務所

人、社会、地球環境との共生

金峰鐘大

株式会社 IAO竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

謹賀新年 2014

建材・設備会社 他

住まいに、人に、安心を。
住宅情報相談センター
住宅相談・住宅情報提供・各種研修事業
住宅展示場の企画、運営
住宅性能評価機関・住宅保険取扱機関

一般財団法人大阪住宅センター

大阪市中央区南船場四丁目4番3号
心斎橋東急ビル4階
事務局 06-6253-0071
<http://www.osaka-jutaku.or.jp>

建築物の質の向上と安全性の確保に貢献
一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 辻 文 三

〒565-0873 吹田市藤白台5-8-1
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784
<http://www.gbrc.or.jp>

謹賀新年 2014

建材・設備会社 他

ナイスジョイント
ステンレス製=給水・給湯・冷温水配管用管継手
オーエヌ工業株式会社

ISO9001
ISO14001
認証取得

代表取締役社長 中村政弘
■本社・工場 〒708-0015 岡山県津山市神戸466
TEL (0868) 28-0171(代) FAX (0868) 28-4254

一般社団法人
大阪空気調和衛生工業協会

会長 太田 隆
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-6-14 朝日生命辰野ビル2階
TEL 06(6271)0175 FAX 06(6271)0177

一般社団法人 **日本建築材料協会**

会長 立野 純三

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 播磨橋ビル4階
電話 06(6443)0345(代)
FAX 06(6443)0348
支部 関東・中部・中国・四国・九州
<http://www.kenzai.or.jp/>

低炭素化の防水仕様で環境へ貢献
■ピロウェルドE新熱工法 ■シグマートE

日新工業株式会社

大阪支店 支店長 北村 克己
大阪支店 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-12-22
TEL 06-6533-3191(代表)
本社 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4
TEL 03-3882-2424(代表)

Hyper-MEGA, Hyper-ストレート, HBM工法
NAKS, RODEX工法

日本コンクリート工業株式会社

本社 〒108-0023 東京都港区芝浦4丁目6番14号(NC芝浦ビル)
基盤事業部 ☎(03)3452-1081 FAX(03)3452-1125
大阪支店 〒541-0059 大阪市中央区博労町4-5-9(本町太平ビル)
☎(06)4963-6911 FAX(06)4963-6916
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-11-5(エスティート名古屋ビル)
☎(052)581-0666 FAX(052)541-2530
四国支店 〒760-0022 香川県高松市西内町4-6(神原ビル)
☎(087)897-2984 FAX(087)897-2986

学校法人 福田学園
OCT 大阪工業技術専門学校 FUKUDA GAKUEN
OHSU 大阪保健医療大学
OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福田 益和
〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995
URL <http://www.fukuda.ac.jp>

あなたのデザインで
スマホケース
1個から!
ネットショップ営業中!
<http://chuwa.shop-pro.jp>
中和 オンデマンド 検索

ツイッター Facebook も更新中
いいね! をお願いします

がんばれ
トライアングル

私たちとは和歌山トライアングルを応援しています。

CHUWA 中和印刷紙器株式会社
〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188

企画から印刷までトータルにクリエートします

株式会社 日報印刷
代表取締役 井上務
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-16-7 TEL.(06)6445-6888

クマリフト エレベーター・ダムウェーティング
福祉機器

本社: 大阪市西区京町堀1-12-20 TEL: 0120-07-0570
<http://www.kumalift.co.jp/>



夢のレンガを積みあげよう

都窯業株式会社

大阪市北区西天満2-8-1 大江ビル
☎(06)6367-0389 FAX(06)6367-5567
miyakoyogyo@md.neweb.ne.jp

断熱・吸音・耐火材料

ロックウール工業会

理事長 矢野 邦彦

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-21-13 東洋ビル4F
TEL.(03)5835-2569
FAX.(03)5835-2570
ホームページ: <http://www.rwa.gr.jp>

一般社団法人 **大阪電業協会**

会長 藤田訓彦

大阪市北区西天満5丁目6番10号 富田町パークビル
電話(06)6363-4077(代) フックス(06)6363-4079

INFORMATION

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

会員の皆様へ 「応急危険度判定士」資格取得のお願い

本会では、大地震発生時に市民の安全を確保するため、全会員の皆様を対象として「被災建築物応急危険度判定士」の資格取得キャンペーンを実施しております。この機会に判定士養成講習会を受講され、本会判定士ネットワークへの登録をお願いいたします。

被災建築物の応急危険度判定養成講習会

2/19 CPD4 単位

日程 2月19日(水)
時間 13:30~17:00
会場 大阪府建築健保会館6階ホール
定員 各150名(申込先着順)
受講資格 大阪府内在住または在勤する一級建築士、二級建築士、木造建築士及び建築基準適合判定資格者。
受講料 無料
テキスト代 1,500円(税込み)
申込先・問合先 一般財団法人大阪建築防災センター耐震部 Tel.06-6942-0190

本会における既存建築物耐震診断等評価業務のご案内

~平成26年1月初めより耐震評価業務を開始~

「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正による、広域緊急交通路の沿道建築物や不特定多数が使用する5,000m²以上の大规模建築物などの耐震診断等の義務化等に伴い、本会は大阪府から耐震評価機関の指定を受け、有識者や実務者の委員会で構成された「建築物耐震評価委員会」を設置しました。平成26年1月初めより耐震評価業務を開始しますので、ご活用いただけますようご案内します。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画案の審査、評価
(対象建築物)

既存建築物で、公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合、評価手数料の割引があります。

詳細につきましては本会ホームページをご覧ください。

平成25年度 建築士定期講習

3/26 CPD6単位

建築士事務所に所属の一級・二級・木造建築士で、平成22年度に建築士定期講習を受講

された方が対象です。なお、平成22年度以前に建築士試験に合格し、本講習を未受講の方は、平成25年度中に必ず受講してください。
■日時・会場
3/26(水) 9:30~17:30
大阪国際会議場、定員300名
会場コード5C-54

■申込締切日
2/28(金)申込書必着
※大阪での申込受付は簡易書留での郵送のみです。

※定員に達し次第、受付を終了します。
■受講料 12,900円(消費税含)

■申込書配布・受付場所
大阪府建築士会事務局
大阪府建築士事務所協会事務局

実践建築スクール《大阪府知事指定講習》
木造住宅設計・監理コース
2/7~2/21 CPD18単位

主催:(公社)日本建築士会連合会
全国の建築士会会員の創意と努力に満ちた建築作品を募集、連合会HPに掲載し、会員相互の技術を高めることを目的とします。その中から特に秀でた建築作品を「平成26年日本建築士会連合会賞」として、その作品の設計者である建築士会会員を表彰します。
■応募要項(抜粋)
1. 応募対象
平成23年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その種類、規模等は問わない。応募時に建築士会の正会員である者に限る。

2. 応募締切 2月21日(金)[当日消印有効]
内容 木造の基礎知識、基本設計、実施設計、地盤・基礎設計、軸組設計、耐風・耐震設計、確認申請、工事監理
4. 作品審査委員会
委員長 村松映一
(株)村松映一建築計画室主宰
定員 50名(申込先着順)
受講料 建築士会会員15,000円、一般19,000円
テキスト代 3,000円(ひとりで学べる木造の壁量設計演習帳)

第59回大阪建築コンクール(隔年開催)募集案内
2/17~2/28

本コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会会員または大阪府在住もしくは在勤の設計者を表彰するものです。同時にう渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者を表彰します。

応募資格

大阪府知事賞部門
大阪府建築士会会員または大阪府在住もしくは在勤の者

渡辺節賞部門
大阪府建築士会会員または大阪府在住もしくは在勤の者で完了検査済証発行日在39歳以下である者

対象建築物 建物の種類・規模は問わない

2009年1月1日から2013年12月31日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物で建築位置が近畿二府四県であること

審査委員
委員長 本多友常(摂南大学教授)
委員(※50音順)

本会ホームページのWEB申込サイトからお申し込み下さい。FAX・郵送の場合は、事務局にお問い合わせ下さい。なお、建築士定期講習会は郵送のみの受付となっています。

問合・申込

大阪府建築士会事務局
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17
高田屋大手前ビル5階
TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103
メール info@aba-osakafu.or.jp
HP http://www.aba-osakafu.or.jp/

木造戸建住宅を対象に、省エネルギー住宅の設計計画及び設計性能を実現するための施工技術の重要性について解説を行うとともに、省エネ性能の評価方法として改正省

Administration

行政からのお知らせ

大阪府温暖化の防止等に関する条例等の一部改正案に対する府民意見等の募集について

大阪府では、建築物の新築・増改築に際して、さらなる再生可能エネルギーの導入や、省エネ化を促進するべく標準条例及び規則を改正します。内容は、延べ面積2,000m²以上の建築物を新築・増改築する場合、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入検討を義務化します。

募集対象項目

大阪府温暖化の防止等に関する条例等の一部改正案について

募集期間 平成25年1月25日(水)~

平成26年1月23日(木)

提出方法 インターネットの専用フォームまたは郵便、ファクシミリでご提出ください。

問合・提出先 大阪府住宅まちづくり部建築指導室審査指導課建築環境・設備グループ

Tel.06-6210-9725(直通)

平成25年度大阪府住宅省エネルギー施工技術講習会(第二弾)開催

住宅の断熱設計から断熱施工までのポイントをテキスト・DVD・实物大カットモデルを活用し分かりやすく解説します。

講習会日程 下記日程のうち、いずれか1日

講習時間 10:00~17:00

講習会費用 1,000円(受講料)+別途修了証発行手数料

会場① 花博記念公園ハウジングガーデンセンターハウス2階

大阪市鶴見区焼野1-2

鶴見緑地駅より徒歩5分【専用駐車場(敷地北側の第2駐車場(無料))あり】

会場①日程 1/9(木)、1/16(木)

会場② 大阪木材会館6階大会議室

大阪市西区新町3-6-9

西長堀駅より徒歩2分【専用駐車場なし(周辺の有料駐車場をご利用ください)】

会場②日程 1/19(日)、1/26(日)、2/2(日)

会場②定員 80名

主催・問合 大阪住宅センター

Tel.06-6253-0073

小角(こすみ)・寺尾

※詳細はHP(http://www.shoene.org/)もしくは上記問合せ先へお問合せください。

本会の催し参加申込方法

本会ホームページのWEB申込サイトからお申し込み下さい。FAX・郵送の場合は、事務局にお問い合わせ下さい。

※詳細はHP(http://www.shoene.org/)もしくは上記問合せ先へお問合せください。

「設計者向け初開催」 平成25年度大阪府住宅省エネルギー設計技術講習会開催

木造戸建住宅を対象に、省エネルギー住宅の設計計画及び設計性能を実現するための施工技術の重要性について解説を行うとともに、省エネ性能の評価方法として改正省

このINFORMATIONページの詳細は本会ホームページにも同時掲載しており、ホームページから直接予約することができます。
下記の本会ホームページへアクセスしてください。(建築情報委員会)

【大阪府建築士会ホームページ】 <http://www.aba-osakafu.or.jp/>

エネ基準に基づく省エネ計算方法の解説と演習を行います。

講習会日程 下記日程のうち、いずれか1日

1/22(水)、1/30(木)、2/6(木)、2/9(日)、

2/12(水)、2/19(水)

講習時間 10:00~17:00

会場 大阪木材会館 6階

大阪市西区新町3-6-9

*地下鉄西長堀駅より徒歩2分【専用駐車場はありません。周辺の有料駐車場をご利用ください】

費用 1,000円(受講料)+別途修了証発行手数料

主催・問合 大阪住宅センター

Tel.06-6253-0073

小角(こすみ)・寺尾

※詳細はHP(<http://www.shoene.org/>)もしくは上記問合せ先へお問合せください。

特別賞などを加え、約20点を予定。
詳細はHPをご覧下さい。

問合・申込 (一社)日本建築学会近畿支部

Tel.06-6443-0538

<http://www.aij.or.jp/>

日本万国博覧会(大阪万博)のテーマ「人類の進歩と調和」を具現化したテーマ館。本展では太陽の塔をはじめとした、200点以上の図面や写真を中心に展示し、テーマ館の全容をひも解くことで大阪万博の本質に迫ります。

主催 (一社)関西環境開発センター

期間 開催中~2月2日(日)

会場 万博記念公園自然文化園内

EXPO '70パビリオン

入館料 大人400円 中学生以下無料

休館日 12月以降の水曜日・年末年始

問合 EXPO '70パビリオン

Tel.06-6877-4737

<http://www.bmkkc.or.jp/expo70pavilion/>

内容

1.「アトリエ系の構造デザイナーとして」

満田衛資(満田衛資構造計画研究所)

2.「形態を発想の源泉としている建築家として」

橋本一郎(エス・キューブ・アソシエイツ)

3.「組織系の構造デザイナーとして」

加登美喜子(日建設計)

4.「教育・研究機関の構造デザイナーとして」

永井拓生(滋賀県立大学)

5.「パネルディスカッション」

定員 200名(申込先着順)

参加費 2,000円(資料代含む、当日徴収)

*主催・共催・協賛団体とも同じ

問合 (一社)日本建築学会近畿支部

Tel(06)6443-0538

内容

1.「アトリエ系の構造デザイナーとして」

満田衛資(満田衛資構造計画研究所)

2.「形態を発想の源泉としている建築家として」

橋本一郎(エス・キューブ・アソシエイツ)

3.「組織系の構造デザイナーとして」

加登美喜子(日建設計)

4.「教育・研究機関の構造デザイナーとして」

永井拓生(滋賀県立大学)

5.「パネルディスカッション」

定員 200名(申込先着順)

参加費 2,000円(資料代含む、当日徴収)

*

日時 十二月十三日(金)十六時~十七時三十分
場所 本会議室
出席 理事三四名、監事二名、顧問他六名

(1) 会計報告の承認
十一月末日の当期経常増減額は、収益一〇一、一四二、三九四円、費用八九、五一五、八一八円、増減一一、六二六、五七六円を報告して承認された。

(2) 収支報告(決算見込み)
現時点での決算見込みは収支差引約二六万円の予測となることを報告した。

(3) 建築物耐震評価業務について
大阪府は沿道中心に約七〇〇棟を三年内に評価する必要があり、後発の本会は周知強化や評価書交付期間の短縮等で受注を伸ばすことに努めた。手数料設定は会員割引によって若干安い印象があり、評価委員の構成も充実しているという意見があった。

(4) 候補者選考委員会の検討報告
理事減数を前提に、二期目理事は退任、一期目理事・監事は二期目に継続することを原則とした。結果、副会長は四人体制、常任理事として新規三名を招聘することを報告した。留任(理事二二・監事一)に継続・新規の候補者(理事一六・監事二)として、次年度に向けて理事三八・監事二の役員四〇名体制を目指すことが承認された。継続・新規の次期候補者に内諾を得たうえで、一度委員会で理事・監事推薦候補者を承認する。建設専門新聞各社に建築物耐震評価業務を開始すること、巨大地震に備えた研究機関を発足させたことなどを発表した。

(5) 建設専門新聞各社に建築物耐震評価業務を開始すること、巨大地震に備えた研究機関を発足させたことなどを発表した。

(6) 近畿建築祭(12/7)を成功裡に開催できることで関係各位のご協力に感謝した。



淡路瓦イズム 『漆喰が映える瓦』

栄和瓦産業株式会社
<http://www.eiwakawara.com/>

取材: 中間伸和/建築情報委員会委員

400年の歴史を持つ淡路瓦は「淡路瓦イズム」を通じ、これから時代に社会から必要とされる瓦づくりに挑戦しようと考えています。今年も淡路瓦イズムを実践している会社を紹介しています。

今回は淡路の窯元85社の中でも新しい考え方を取り入れて製品の開発に努力を注いでいる栄和瓦産業(株)です。

「漆喰を使っている建物で漆喰が映える瓦」と「黒燻(くろいぶし)」の特徴を語る栄和瓦産業(株)の濱口社長。この商品の研究開発から商品完成までは試行錯誤の繰り返しだったそうです。

一般にいぶし瓦は1000度で焼いてその後「燻化」させて出来上がる。しかしこの「黒燻」は、高温の1080度まで焼きしめ、その後冷まして900度で「燻化」、炭素膜を作り、そのまま600度まで来た時に一気に空気を入れて表面の炭素膜を燃やすことによって二度焼き状態となり、土の中深く焼き込まれることにより完成する。

「この、はじめの焼く温度が重要で、1000度ではダメで。淡路瓦は低温で焼くのが特徴ですが、淡路の土の限界を超えて1080度で焼くこと、その後の空気を入れての二度焼きも600度でなければなりません。そうしないと、安定した状態で焼き上がりません。」とのこと。まさに、陶芸家や刀職などの技の話を聞いているようであった。

淡路の土は鉄分が多く、一般的ないぶし瓦は鉄錆びが出ることもあるが、この「黒燻」は鉄分が二度焼きされることで安定した四酸化三鉄(黒錆)の状態となり、その結果、弱点であった寒さにも強い性質を手に入れることができ、またキズが付きにくい「黒つや消しの自然の瓦」に仕上がった。

完成までは、研究着手から約4年かかったとのこと。

「黒燻」の、新しいのに、数十年の経年変化した古瓦のような風合いは、日本家屋の屋根葺き替えや、古建築の修復等に使用されることも多いですが、「黒艶消し」の特徴を活かして新しい感覚の和風建築へも使用方法は広がります。



「オリジナルの金型も数万円から作ることができるので少量のロットでも製作可能」とのこと。軒巴瓦のデザインを始め、細かい所でオリジナリティを發揮することも可能です。

この、塗っている訳でなく自然に焼いての「均一な真っ黒の素材には、設計者として心くすぐられるものを感じます。ぜひ実物サンプルを請求してご覧ください。

■淡路瓦のお問い合わせ先
淡路瓦工業組合
兵庫県南あわじ市湊134
Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030
info@a-kawara.jp
<http://www.a-kawara.jp/>

最近、化学物質過敏症が増えてきているようだ、士会でも建築相談を受けることがあります。化学物質過敏症(CS)とは非常に微量な化学物質に反応し、多義にわたる症状を引き起こす疾患で、TVのフレームに使つてあるプラスチックですら反応される方もおられます。

また、化学物質ではありませんが、同じような症状を引き起こすものとして、電磁波過敏症もあり、双方の疾患が重なっている方も結構見うけられます。

CSは、シックハウス症候群の悪化によるものが多く、発症原因の半数以上が、室内空気汚染からといわれています。

自宅や職場、学校などの新築、改修、改装で使われる建材、塗料、接着剤から放散される、ホルムアルデヒド、揮発性有機化合物(VOC)ばかりでなく、室内で使われる家具、殺虫剤、防腐剤や、喫煙なども室内汚染を引き起こし、CSの発症原因になっています。

症状としては、目、耳、鼻、のどの疾患から、皮膚、内臓、筋肉、神経、精神疾患に至るまで、本当に多種多様で、個人差も大変大きい疾患だとのことです。

つまり原稿をいたしました。市販品はF☆☆☆製品がほとんどになり、當時換気扇も義務付けられた事から、世間では室内空気質問題あまり騒がれなくなりました。一方で現在もシックハウスや化学物質過敏症に悩む人がまだまだいます。そんな話題を掘り下げていただきました。

今月の「建築相談」コーナーは、相談員の羽木みづり様に原稿をいたしました。

☆☆製品がほとんどになり、當時換気扇も義務付けられた事から、世間では室内空気質問題あまり騒がれなくなりました。一方で現在もシック

建築相談

建築士の見たトラブル事例(十七)

このようなCS患者の住宅を造ることの難しさは、色々な話を聞く度に痛感させられます。

新年号の「建築人(けんちくびと)」は

筑波幸一郎・荒木公樹・牧野隆義

一度立ち止まり、これまでの二年間を振り返りました。三ヶ月ごとのインタビューでは、校了するやいなや、次の準備に入る必要があるスタッフは息つく暇ありません。

それでも、「建築人(けんちくびと)」はスタッフにとって大変貴重な機会であり、その場にいなければ感じ得ない空気感があります。お世話をなった建築人の皆様に改めてお礼を申し上げます。

建築界では、消費税引き上げ前の駆け込み需要や、東京オリンピック開催の盛り上がりが、関西で活動する人間にとつて気になるところです。忘れてはならないのが、福島の原発問題です。これまでの日本が遭ったことから、厚生労働省は、室内空気の化学物質濃度に指針値を設け、「二〇一三年七月には改正建築基準法が施行され、シックハウス症候群予防のための法規制が始まりました。

しかし、それは小手先の対処法であり、十分な問題解決に至っていないのが現実です。

私たち人間のエゴを優先して、目先の利便性、快適性ばかり追求してきましたが、その一方で、本来あるべき姿を見失つてしまっているのではないかでしょうか。

地球上のすべての生命はそれぞれ循環しながらバランスをとっています。そして、人間は自然の一部であり、そのバランスを崩し、孤立した社会では生きられません。この「CS問題」は私たちの社会のはずみに対する警鐘ではないのかと思えてなりません。

私たちは人間のエゴを優先して、目先の利便性、快適性ばかり追求してきましたが、その一方で、本来あるべき姿を見失つてしまっているのではないかでしょうか。

地球上のすべての生命はそれぞれ循環しながらバランスをとっています。そして、人間は自然の一部であり、そのバランスを崩し、孤立した社会では生きられません。この「CS問題」は私たちの社会のはずみに対する警鐘ではないのかと思えてなりません。





柊木の家

この地域は敷地の区画が大きく、道路より後退して家並みが続く緑が根着いた住宅地である。その一画を購入され、東西は隣家の庭に面し、南面は道路より1メートル程度の高低差があった。親子3人の住まいに、和室と車2台分の車庫との要求から計画を始めた。

道路からの高低差を生かすこと、近隣の視線を調整し開放的であること、30%という厳しい建蔽率、これらの条件を満たすべく、平面計画を繰り返した。

道路に面した車庫の上に和室をのせる事で道路からの顔とし、日々の生活は北側に配した。アプローチは東側階段をついた玄関へと導き、玄関ホールを和室と居間寝室との繋ぎの空間とした。コの字型平面の中庭を西側に開放させて午後からの光を取り入れ、風を誘い入れる。北側の2階建の中央は吹抜け空間で、それにつながる階段と渡り廊下から、中庭と和室屋根越しに遠く大和の山並みへと視線が広がる。時と場所により、見え方の異なる景色を味わうことが出来る。

中庭をはさみ居間の景色として存在する南側の和室は茶室のような窓を持つ。南道路からの視線を考え、天井際に窓は配され、東側の床脇には隣家の木々を越して遠望する窓を配し、西側は外待合からの躊躇口と木々を眺める窓、北側は中庭を介して居間へと視線が繋がる。ガラスを多用した変化に富んだ構成で、軽やかな透けの空間である。中庭から飛び石伝いに露地を上り、柊木扉と水盤を見ながら待合腰掛けへと導かれる、高低差と視線の変化が奥深さを感じさせ、やがて植物も育ち、市中の山居となればと思う。

撮影：松村芳治

■建物データ

設 計：木原千利設計工房
施 工：株式会社SEEDS・CASA
所 在 地：奈良市
用 途：住宅
竣 工：2009.8

構造規模：木造一部RC造
地下1階地上2階建
敷地面積：404.40m²
建築面積：121.00m²
延床面積：206.16m²

